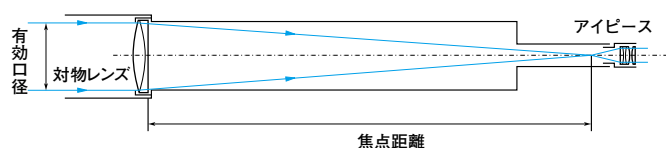


# 天体望遠鏡の 選び方

## 1 天体望遠鏡の種類で選ぶ

### 屈折式望遠鏡

星の光が対物レンズで屈折されて焦点に像を結ぶので、屈折式望遠鏡といいます。



● **TOA** 2枚の特殊低分散ガラスを含む3枚構成の対物レンズで、色収差と球面収差を完全になくした新鋭機。

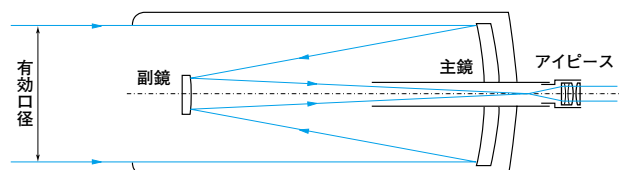
● **FC** フローライトを使った2枚玉対物レンズの機種。FS-60CBはコンバージョンレンズを使えば望遠レンズとしても使えるコストパフォーマンスの良いミニ望遠鏡。

● **TSA** スーパーEDガラスの前後をクラウンガラスで挟んだ3枚玉対物レンズで、眼視・写真それぞれで高いレベルの性能を持つスタンダード機

● **FSQ** 2枚のスーパーEDガラスを使用した4枚構成の対物レンズを持つ、TSA以上の性能を追求したハイ・パフォーマンス機種。眼視だけでなく、アストロカメラとしても抜群の性能を発揮する。

### 反射式望遠鏡

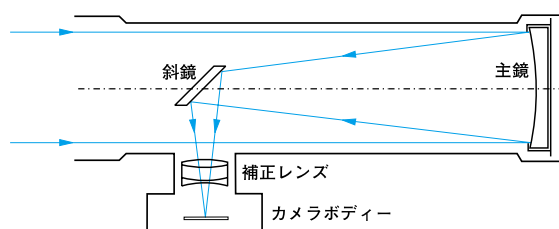
星の光が主鏡で反射されて焦点に像を結ぶので、反射式望遠鏡といいます。タカハシの反射式望遠鏡は焦点の結ばせ方によって、いろいろな形式があります。



●  **$\mu$  (ミューロン)** 凹楕円面主鏡と凸球面副鏡を組み合わせたドール・カーカム式のカセグレンタイプ望遠鏡で、口径が大きく焦点距離が長いにもかかわらず、非常にコンパクトなのが特徴。中心像はニュートン式に劣らぬほどシャープで高倍率が得やすいため、惑星観測に最適。また、専用の $\mu$ フラットナーレデューサーで星野写真撮影も可能。

● **BRC** 高次非球面の主・副鏡と2枚の補正レンズの組み合わせで、球面収差、コマ収差さらに非点収差、像面湾曲も完璧に補正。冷却CCDから4×5版まで多様なフォーマットで最高画質の撮影ができる新型アストロカメラ。

●  **$\varepsilon$  (イプシロン)** 構造はニュートン式反射と変わらないが、凹双曲面主鏡と接眼部の補正レンズの組み合わせで設計した、写真撮影用のアストロカメラ。低倍率ならば眼視も可能。



## 2 使用目的で選ぶ

- 気楽に観望する…………… TSA, SKY,  $\mu$ , FS
- バリバリ観測する…………… TOA,  $\mu$ , FSQ
- 星野写真に凝る……………  $\varepsilon$ , BRC, TOA, FSQ

タカハシでは、小型機から公共施設向けの大型機まで、豊富な機種を取りそろえています。また、取付サイズが統一されているので、鏡筒と赤道儀の組み合わせも自由です。

